

## 資料 4

西東京市公民館運営審議会  
令和5年度第6回定例会

## 令和5年度 公民館主催事業計画書

## 令和3年度～5年度公民館事業計画における基本方針

- 1 開かれた公民館
- 2 問いかける公民館
- 3 地域とともに
- 4 地域の中につながりを

公運審提出日 令和5年10月18日

|   | 実施館 | 事業名  | 基本方針 | 期間・回数   | 事業概要   | 主な講師等                        |
|---|-----|--|------|---|--|------------------------------|
| 1 | 柳沢  | 地域防災講座<br>首都直下地震！ 火災からいのちを守るまちづくり                  | 3    | 令和5年1月7日<br>2月4日<br>3月17日<br>日曜日<br>14時から16時<br>全3回 | 今後30年以内に70%の確率で起こるといわれている首都直下地震発生時、火災による被害を最小限にとどめるための火災対策について、個人の備えだけでなく、まちづくりという視点から考える。 | 小野修平（防災アドバイザー、ジョージ防災研究所代表）ほか |
| 2 | 柳沢  | 現代社会を考える講座<br>1960年代から「いま」を考える<br>～歴史に学ぶ現代社会のしくみ3～ | 2    | 令和5年1月14日から<br>3月9日<br>土曜日<br>10時から12時10分<br>全5回    | 1960年代、高度経済成長期の日本を振り返ることを通して、現代社会について考える。  | 戸邊秀明（東京経済大学共通教育センター教授）       |

|   |    |  |        |   |   |   |
|---|----|--|--------|---|---|---|
| 3 | 柳沢 | 学齢期の子どもがいる人のための講座<br>ココロとからだを育む「生と性」の親子のおはなし | 1<br>2 | 令和5年1月18日から<br>2月29日<br>木曜日<br>10時から12時<br>全4回            | 生命の循環や体の変化と関連付けながら、子どもとのコミュニケーションを土台に「性」を考える。   | 諸井更絵子（株式会社kucca代表取締役）<br>星 竜也（レインボーコミュニティ西東京代表）<br>喜田 貞（まちかど保健室）        |
| 4 | 田無 | 小学生親子夕方講座<br>日本の伝統文化「茶の湯」を学ぶ                 | 1      | 令和5年12月12日から<br>令和6年2月27日<br>火曜日<br>16時30分から17時50分<br>全5回 | ・親子で日本の伝統文化「茶の湯」を学び、親子のコミュニケーションの活性化の一助とする。<br>・茶道の作法を体験し、美しい所作への気づきや、「茶の湯」を通して静かに落ち着いて物事に向き合う力や、おもてなしの心を養う。          | 嶋田宗恵（西東京市茶道華道文化協会茶道部長、裏千家助教授）   |
| 5 | 谷戸 | インクルーシブな社会をめざす講座<br>みんなのボッチャ大会               | 1<br>4 | 12月10日<br>日曜日<br>9時15分から12時                               | 公民館主催講座から発足したサークルをはじめ、市内で活動するボッチャを楽しむ団体や個人に参加を呼びかけ、ボッチャ大会を開催する。実施にあたっては、参加団体が組織した実行委員会が企画、運営等を行う。                     |   |
| 6 | 谷戸 | 教養講座<br>音楽はひとつーロマ、アラブ、ロシアの音楽を学ぶ              | 1      | 3月17日 日曜日<br>3月20日 水曜日<br>3月24日 日曜日<br>14時から16時<br>3回     | ・分断された世界や人々をつなぐ文化としての「音楽」を学ぶ。<br>・「流浪の少数民族と西欧」、「イスラームとアラブ音楽」、「ロシアの人々と音楽」といった現代社会の問題にもつながる音楽文化を包括的に学び、人々がひとつになる意味を考える。 | 横井雅子（国立音楽大学特任教授、民族音楽学）<br>常味裕司（洗足学園音楽大学講師、ウード奏者）<br>中田朱美（国立音楽大学准教授、音楽学） |